

海外安全対策情報（2025年11月～2026年2月）

1 社会・治安情勢（報道内容・コントロールリスクス社提供資料ほか当館調べ）

（1）テロ等の情勢

2025年のテロ発生件数は699件（前年比34%増）であり、2021年8月米国のアフガニスタン撤退以降増加傾向にある。テロの対象は約65%が軍・治安関係者に対するものであるが、政府関係者、宗教指導者、一般人等と多岐に渡っている。攻撃手法は、銃撃等が368件（約53%）、IEDが160件（約23%）、手榴弾が58件（8.3%）、自爆が23件（3.3%、対前年比+10件）と続いている。

1月31日朝、バロチスタン州において、クエッタ市、マストゥング郡、カラート郡、ヌシュキ郡、グワダル郡等12都市において、バローチ民族分離主義勢力が、軍・治安関係施設、政府庁舎、銀行等に対して同時攻撃を起こした。掃討作戦が数日間継続し、同勢力側は約200人、治安機関側も約50人が死亡したと報じられている。BLAが犯行声明を发出。

2月21日、パキスタンがアフガニスタンのナンガルハール県等のテロリストの潜伏場所7か所を空爆した。同月26日、アフガニスタン側がパキスタン国境地帯の哨戒所等を攻撃したことに対して、翌日、パキスタン側がカブール、カンダハールを含むアフガニスタン軍基地を攻撃し、その後も国境付近では戦闘が継続している。

2月28日、アメリカ及びイスラエルがイランを空爆し、ハメネイ師を殺害したことを受け、群衆が在カラチ米国総領事館に押し掛け暴徒化し12人が死亡、イスラマバード及びブスカルドウを含め計20人が死亡した。

（2）主なテロ事件

【11月】

1日、バロチスタン州ナシラバードにおいて、ジャーファルエクスプレスを狙って線路が爆破された。同月24日、25日、29日にも発生。

24日、バロチスタン州アワラン郡において、BLFが建設現場のキャンプを襲撃し、軍・治安機関が応戦しようとしたところ、逆に狙われ兵士8人が死亡した。

【12月】

1日、バロチスタン州コホルー郡において、BLAが石炭採掘会社を警備する民間謝金会社、同郡ガス会社の警備キャンプを襲撃し、武器を強奪、採掘会社との契約を解約するように脅迫した。

7日、バロチスタン州マストゥング郡において、BLAが移動中の治安部隊を襲撃し8人が死亡した。

【1月】

1日、バロチスタン州アワラン郡において、BLFが軍の車列を攻撃して兵士5人が死亡、3人が負傷した。

3日、バロチスタン州アワラン郡において、BLFが軍の車列を攻撃して兵士7人が死亡、6人が負傷した。

9日、バロチスタン州フズダル郡において、BLFが軍車列を攻撃して兵士6人が死亡した。

14日、バロチスタン州パスニ郡において、BLFが軍の車列を攻撃して兵士8人が死亡した。

15日、バロチスタン州カラン郡において、警察署を襲撃すると同時に、市内銀行から340万パキス

タンルピーを強奪しようとしたが、治安部隊に阻止殺害された。

【2月】

7日、バロチスタン州アワラン郡において、BLFが軍車両を攻撃し5人死亡した。

(3) カラチ市内の一般犯罪情勢

ア 傾向

1月5日、カラチ市 Raees Goth 地内において、トラックに積まれた約 2,000kg の爆発物、起爆装置数個等が押収された。同爆発物はバロチスタン州から運び込まれ、同州出身者の容疑者複数人が逮捕された。

強盗犯が店内又は屋外で発砲する事件が発生し、事件に巻き込まれて死亡するケースが散見される。

イ 主な一般犯罪事件等

【11月】

27日、カラチ市バルディア地区において、強盗犯が理髪店に押し入り銃を突き付けて、店員及び客からスマートフォンを強奪した。

【12月】

1日、カラチ市オランギー地区において、強盗犯が民家に押し入り家人を殺害し外に出たところ、周囲から囲まれ電柱に縛られて、火を付けて殺害された。

15日、カラチ市グルシャネ・イクバル地区において、強盗犯が逃走の際に発砲して、付近のリキシャーの運転手に命中し死亡した。

19日、カラチ市 DHA5 地区の携帯電話店に強盗が押し入り、大量の携帯電話を強奪して逃走した。

【1月】

14日、カラチ市マンゴーピール地区において、土地を巡る口論から当事者が発砲して、付近の歩行者1人が死亡、当事者4人が負傷した。

【2月】

7日、カラチ市コランギー地区において、複数の強盗犯が住民から囲まれ、犯人1人が棒で殴打され死亡した。

14日、カラチ市オランギー地区において、何者かが宗教教師を射殺して逃走した。

2 当面の警戒を要する主要行事

メーデー：5月1日予定

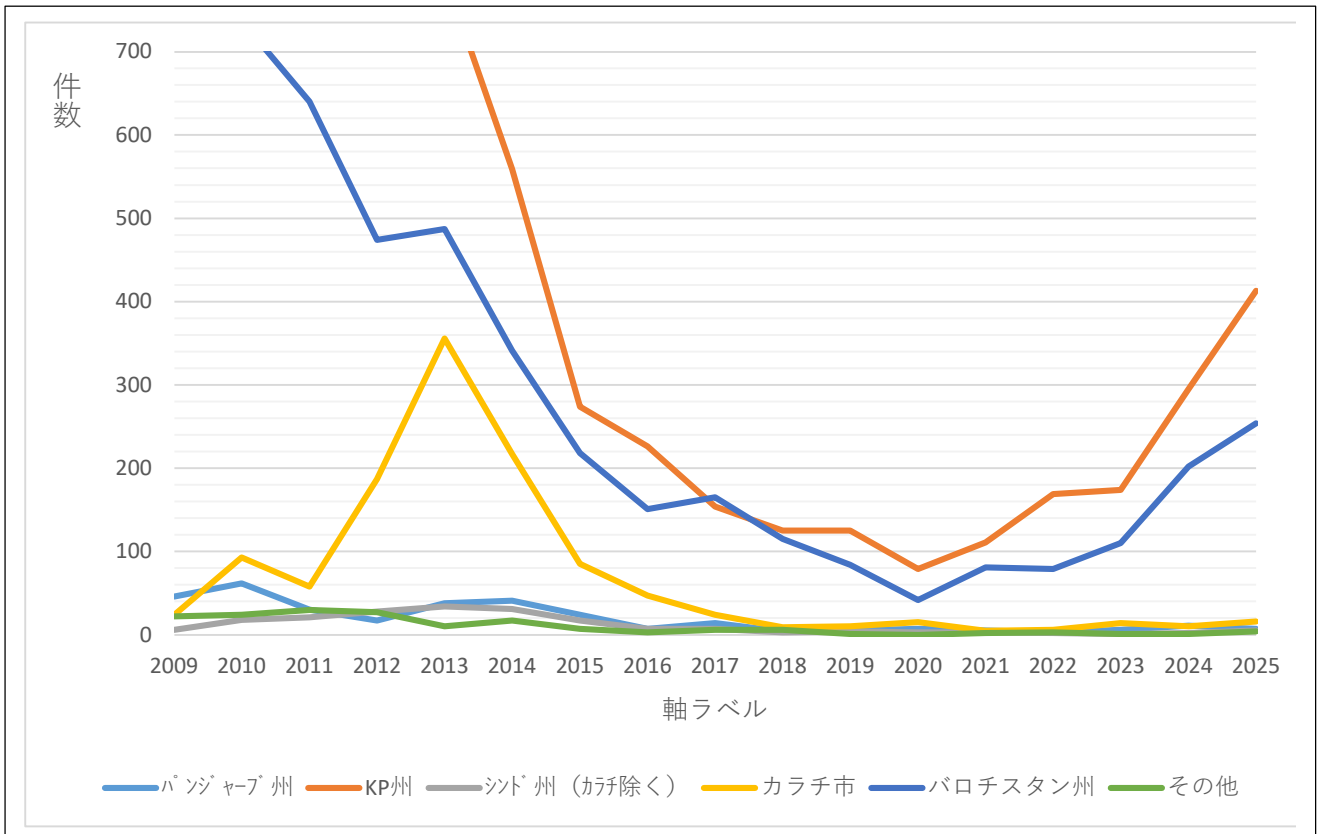
イード・アル・アドハー（犠牲祭）：5月27日予定

3 統計

※テロ件数等は、在イスラマバード民間シンクタンク「パキスタン平和研究所」資料。

※一般犯罪統計は、CPLC (Citizens Police Liaison Committee) 資料。

(1) 過去のテロ発生件数の推移



	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
パンジャーブ州	46	62	30	17	38	41	24	7	14	4	5	7	5	3	6	11	7
KP州	1696	1179	1187	844	792	559	274	226	154	125	125	79	111	169	174	295	413
シンド州 (カラチ除く)	6	18	21	28	34	31	17	7	7	3	4	3	3	2	1	2	4
カラチ市	24	93	58	187	356	217	85	47	24	9	10	15	5	6	14	10	16
バロチスタン州	792	737	640	474	487	341	218	151	165	115	84	42	81	79	110	202	254
その他	22	24	30	27	10	17	7	3	6	6	1	0	2	3	1	1	5
合計	2586	2113	1966	1577	1717	1206	625	441	370	262	229	146	207	262	306	521	699

(2) 2025年のテロ発生状況 (12月末)

○シンド州 (カラチ市を除く)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
発生件数	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	4
死者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負傷者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7

○カラチ市

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
発生件数	1	1	5	0	1	1	0	2	3	2	0	0	16
死者数	0	1	3	0	1	1	0	2	2	3	0	0	13
負傷者数	1	0	6	0	0	0	0	3	0	0	0	0	10

○バロチスタン州

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
発生件数	22	25	36	19	15	23	28	18	21	12	22	13	254
死者数	60	86	109	50	20	19	25	13	69	11	7	6	475
負傷者数	64	45	130	27	22	33	55	18	109	14	20	7	544

(2) カラチ市内の主な一般犯罪の発生状況

○2022年から2025年の犯罪状況

	2022	2023	2024	2025
強盗(自動車)	161	264	283	309
窃盗(自動車)	2,105	2,046	1,802	1,859
強盗(バイク)	4,970	7,299	8,204	6,419
窃盗(バイク)	51,901	48,229	41,858	38,513
強盗(携帯電話)	28,561	28,085	19,639	17,675
誘拐	13	17	20	21
殺人	592	647	543	567

○2025年の発生状況(12月末)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
強盗(自動車)	31	36	21	19	31	23	22	31	27	25	19	24	309
窃盗(自動車)	151	159	139	131	166	115	197	204	172	153	141	131	1,859
強盗(バイク)	617	549	574	569	702	585	502	507	517	565	391	341	6,419
窃盗(バイク)	3,413	3,224	3,605	3,176	3,292	3,298	3,357	3,332	3,181	3,119	2,752	2,764	38,513
強盗(携帯電話)	1,585	1,402	1,312	1,364	1,489	1,436	1,603	1,480	1,542	1,662	1,403	1,397	17,675
誘拐	3	1	1	3	2	3	1	1	1	2	1	2	21
殺人	54	36	42	53	66	33	52	54	51	48	39	39	567

○地区別の発生状況(12月末)

強盗(自動車)	2023	2024	2025	窃盗(自動車)	2023	2024	2025
EAST(EAST)	133	163	172	EAST(EAST)	688	647	652
MALIR(EAST)	42	40	34	MALIR(EAST)	112	124	81
KORANGI(EAST)	12	9	15	KORANGI(EAST)	207	204	147
WEST(WEST)	37	21	16	WEST(WEST)	69	53	66
CENTRAL(WEST)	24	22	31	CENTRAL(WEST)	672	473	590
SOUTH(SOUTH)	9	15	34	SOUTH(SOUTH)	268	267	286
KEAMARI(SOUTH)	11	13	7	KEAMARI(SOUTH)	44	34	37
合計	268	283	309	合計	2,060	1,802	1,859

強盗(バイク)	2023	2024	2025
EAST(EAST)	2,491	2,777	2,310
MALIR(EAST)	651	962	760
KORANGI(EAST)	1,057	1,071	962
WEST(WEST)	1,123	1,307	883
CENTRAL(WEST)	1,635	1,477	795
SOUTH(SOUTH)	152	225	296
KEAMARI(SOUTH)	279	385	413
合計	7,388	8,204	6,419

窃盗(バイク)	2023	2024	2025
EAST(EAST)	13,137	10,168	9,589
MALIR(EAST)	2,871	2,959	2,916
KORANGI(EAST)	11,761	9,102	8,392
WEST(WEST)	5,286	4,036	3,200
CENTRAL(WEST)	11,676	7,813	5,392
SOUTH(SOUTH)	4,924	5,345	6,555
KEAMARI(SOUTH)	2,840	2,434	2,469
合計	52,495	41,857	38,513

強盗(携帯電話)	2023	2024	2025
EAST(EAST)	8,131	5,931	5,782
MALIR(EAST)	1,450	1,046	916
KORANGI(EAST)	4,316	3,006	2,736
WEST(WEST)	2,424	1,483	1,470
CENTRAL(WEST)	7,621	4,516	3,467
SOUTH(SOUTH)	2,768	2,493	2,342
KEAMARI(SOUTH)	1,342	1,153	962
合計	28,052	19,628	17,675

殺人	2023	2024	2025
EAST(EAST)	126	130	105
MALIR(EAST)	101	81	106
KORANGI(EAST)	68	57	59
WEST(WEST)	118	101	110
CENTRAL(WEST)	84	62	59
SOUTH(SOUTH)	63	56	52
KEAMARI(SOUTH)	89	67	76
合計	649	554	567

誘拐(身代金目的)	2023	2024	2025
EAST(EAST)	6	6	5
MALIR(EAST)	4	5	4
KORANGI(EAST)	0	0	2
WEST(WEST)	1	3	1
CENTRAL(WEST)	1	6	5
SOUTH(SOUTH)	4	2	3
KEAMARI(SOUTH)	1	5	1
合計	17	27	21

5 在留邦人の安全に関わる対策等

(1) 最近の治安情勢を受けた注意点

- ・ 象徴的なターゲットへの注意
中国権益や空港等ソフトターゲット、政府重要施設は十分な警戒を要する。
- ・ 中国権益以外への攻撃の可能性
中国権益に対する警備強化により、治安リソースが割かれる傾向にある。
- ・ ローンオフエンダー型テロ事件への懸念
テロ組織の発信力が強まれば、それだけ感化される者も増える。
- ・ 通信制限に対する備え

(2) テロ・一般犯罪対策

- ・ 移動間は警護員を帯同させ、自宅においても警備員の配置を検討する。
- ・ 企業・個人等の情報や行動予定の共有は必要最低限に留める。
- ・ 出退勤においては複数ルートを選定するとともに、出退勤時間を変えることが望ましい。
- ・ 防弾車が準備できれば安全性は増す。
- ・ 治安情勢の変化に伴い、治安当局への応援要請も検討する。

- ・ テロの標的となっている場所（政府・軍・治安機関施設、宗教施設、中国関連施設、米国関連施設）への立ち寄りや極力避け、集会・抗議活動等には近づかない。

（３）銃器使用による強盗（ガンポイント）対策

- ・ 警護員を帯同させる。
- ・ 銀行・両替商の利用者が標的とされやすいため、現地職員に業務を委託するなど被害に遭わない工夫をする。
- ・ 犯人はバイクや徒歩で近づいてくるほか、標的選定のために見回るケースもあることから、同じ場所に長時間滞在することを避ける。
- ・ 渋滞を避ける。

（４）デモ・抗議集会に関する情報収集

- ・ 渋滞に巻き込まれ強盗等の被害遭遇を避けるため、ドライバー等を活用し情報収集を行う。
- ・ 群衆は些細なことで暴徒化する可能性があるほか、当該デモ等が犯罪組織やテロ組織の攻撃対象になる可能性もあるため、決して近づかない。

（５）安全に対する自己点検

- ・ 常に安全に対する問題意識を持ち、疑問点を確認する。
- ・ 安全対策に正解はなく、治安情勢に沿った対策を講じる。
- ・ 安全対策について、当館警備班に相談する。